

発行

宮城県こもれびの森 森林科学館  
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL/FAX 0228-56-2330  
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



## イベント報告 -ウッドランドクラブ6月-

### ～「カブト虫の飼い方教室」～

6月のウッドランドクラブは、カブト虫探しをメインに、園内の水生生物や昆虫などの小さな生き物も観察しました。

湿性植物園では、「モリアオガエル」の卵を観察しました。木の葉に産み付けられた泡のような卵ですが、子ども達は興味津々でした。

泡が下の池にたれると、待っていたかのように「イモリ」が集まり、卵を食べてしまいます。野生生物のキビシイ生存競争を垣間見ることができたようです。



〈カエルの卵探し!〉

カブト虫の飼い方などをお勉強した後は、お目当ての幼虫を探しました。捕まえた幼虫は大切に飼育されることを願っております。

昼食前には「おやつ」を自分で作りました。小麦粉をこねて、竹の棒に巻き付け、炭火で焼くというものです。とてもシンプルなパン作りですが、味の方はプロなみでした。

子どもの参加が多いイベントですが、来年もまた来て下さいね。待っています。



〈仲良く「棒パン」作り〉

## こもれびの森の かわいいことりたち

こもれびの森サポーターで  
専属ことりカメラマン(?)の  
大友さんのコーナーです

### 夏の鳥たち

①キセキレイ若鳥です。巣立って間もないのですが、ホバリングしてのエサ取りもできるようになりました。

②コサメビタキです。ヒタキ類の鳥は空中でエサをとると元の枝に戻る習性があります。どちらも満足そうに見えます。

③道端に“つくんと”座っていました。ホオジロのヒナでまだ飛べません。巣から落ちたのかもしれない。車にひかれないうちに移しました。よかったのかな、早く親が来てほしいです。(大友)



〈①キセキレイ若鳥〉



〈②コサメビタキ〉



〈③ホオジロ・ヒナ〉

## 生き物いろいろ



～身近にいる小さな虫たち～

### 名前も家も顔も面白!!

今時分、館内の木や草の葉が円筒状や円錐状となっている「ゆりかご」が見られる。ゆりかごは揺籃(ようらん)と呼ばれ、オトシブミやチョッキリが産卵するために葉を折り曲げ丸めて作ったものである。オトシブミは、江戸時代に他人にばれないように手紙を道端に落として渡したという「落とし文」から来ている。チョッキリは、葉や茎を「ちよっきり」と切る習性からつけられたものである。これら虫の名前も揺籃の形もユニークであるが、一番ユニークなのは「長〜い顔」のような気がする。(は)

【注：胸部(前胸部)が長いのはオトシブミ、口(口吻)が長いものはチョッキリが多い】



〈①コナラで作ったオトシブミの揺籃幼虫〉



〈②ナミオトシブミ(♂)成虫〉



〈③イトドリで作ったチョッキリの揺籃〉

「3出複葉」



〈クローバー〉



〈クズ〉

## まめちしぎコーナー “花や木などのチョットした知識”

### クズの四つ葉..? ～クズ(マメ科)・クローバー(マメ科)～

山野でクズの葉、野原ではクローバーの葉が目立つ季節となりました。この両者の共通点は、ともに「マメ科」で繁殖力が旺盛で、葉が3枚の複葉(3出複葉)ということです。

しかし、取り扱われ方には大きな違いが見られます。ヨーロッパ原産のクローバーは、まれに4枚の葉(四つ葉のクローバー)を見つけることがあります。確率は1万分の1だそう、ヨーロッパでは宗教的ないわれとともに、「幸運」の象徴とされます。また、五つ葉の確率は100万分の1とされ、こちらは「財運」の象徴とされます。七つ葉ともなると「無限の幸福」を意味し、これを見つけた人は一生困ることはないはず??、ということになります。

さて、厄介者とされるクズを愛する者として、同じ「マメ科」で「3出複葉」であるクズの葉にも四つ葉があるに違いないと考えています。しかし、現在のところ見つけることはできず、今年も、四つ葉のクズ探しに挑戦しようと思っています。見つけたらどんなご利益が訪れるのか楽しみです・・・(千葉)

## 科学館情報

### 評議委員会報告

森林科学館では、利用者の声を施設運営に生かすため、行政担当者、近隣住民、利用者代表からなる外部委員会を設置しています。6月20日に今年度最初の「こもれびの森評議委員会」を開催し、委員の皆様より貴重なご意見、ご要望を伺うことができました。特にリニューアルによって、トイレが洋式になり、館内照明がLEDになり明るくなったことなどが話題となりました。また、クラフトコーナーが充実したことから、子供だけではなくお年寄りにも積極的に紹介するべきとのご意見を頂きました。ご意見は、今後の施設運営に生かしていきたいと思っております。